

# 青森北進路通信

## 第7号

### 大学入学共通テスト近づく ～一般選抜に向けて追い込みの時期～

1月14日(土)・15日(日)「大学入学共通テスト」が実施されます。本校からは90名が受験予定で、今年度は青森大学が会場です。23年度入試では、選抜に共通テストを利用する大学は711校(国立82、公立94、私立535)で、国公立希望者にとっては最初の関門になり、私立大希望者にとっては、一般選抜に比べて受験料が安く、遠方まで受験に行く交通費も抑えられるなどのメリットがあります。いわゆる「センター試験」に代わるもので、今回で3回目。総合的、多面的な能力を評価する入試への転換を目指し、全体的に知識や解法の暗記のみで解答できる問題は減少し、より理解の質が問われる問題が重視されるようになっていきます。全国のライバルは51万2581人。最後まで力を尽くそう。



### 進路決定状況

**進学** 国公立大 33名 (総合型選抜 12名 学校推薦型選抜 21名)

※12月21日現在

私立大 58名 短大 9名 専門学校等 25名 計 125名 合格

総合型選抜・学校推薦型選抜の結果は現在のところ上記のとおりで、国公立大学の合格者は33名と健闘しています。昨年度から、全教員による指導体制を組み、指導担当者のもと準備を進め受験に臨みました。今年度は県外の学校にも積極的に挑戦することで、合格を勝ち取った人が多く出ています。1～2年生は、視野を広げて学校研究を進め、地元にとばかりすぎずに、自分に合った研究内容や試験内容の学校を探し、比較してみることも大事です。一方、私立大学や専門学校で、特に医療系の学部学科で厳しい結果も出ています。医療系の仕事は、最終的に国家試験に合格しなければ資格が得られないことから、基礎学力や論理的思考力を持っているかを問われることが多く、また医療従事者としてふさわしい、倫理観や使命感を持った人物であるかどうかチェックされます。「推薦はラク」「私立だから(専門だから)大丈夫」という間違った認識でいる人は、いますぐ考えを改め、日々の学習への取り組みを見直すべきでしょう。

### 就職 公務員試験 22名が進路決定

今年度の公務員試験結果が出そろいました。一次試験を突破したのはのべ59名でしたが、最終合格者はのべ50名、複数合格している人がいるため、実際には22名です。毎年公務員を希望者は多いですが、実際の試験はいかに厳しいかわかると思います。

国家公務員一般職(事務)	3名	青森市職員(消防)	2名	北海道警察官B	3名
国家公務員専門職(税務)	1名	青森県警察官B	5名	弘前地区消防事務組合	1名
刑務官	1名	黒石市職員(事務)	2名	東京消防庁消防官Ⅲ類	1名
青森県職員(教育事務)	2名	三沢市職員(消防)	1名	海上保安学校学生	1名
青森市職員(一般事務)	2名	三沢市職員(事務)	1名	一般曹候補生	12名
		函館市職員(消防)	1名	自衛官候補生	11名



### 進路コラム ～問われる「主体性・多様性・協働性」～

これからの変化の激しい時代に対応できる人材育成を目指して国が進める「高大接続改革」により入試は変わっています。学力の3要素と呼ばれる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価することが求められるため、学校推薦型選抜や総合型選抜の志望理由書や活動報告書に、

- ①「主体性を持って(=自分からすすんで)」
- ②「多様な人々と(=学校外で様々な年齢立場の人たちと)」
- ③「協働して(=テーマに沿ってグループで協力し合って)」

行った活動や、  
④「そのような活動から学んだこと」  
についての記載を求められることが多くあります。  
記事にある「レスタ」には本校からも参加している生徒がいます。  
みなさんもいろいろな活動に挑戦してみましょう。



**「若者・オブ・ザ・イヤー」総理大臣表彰**

**学生団体レスタ(青森)に 異年齢交流の場を提供**

地元の若者のための活動が、総理大臣表彰を受賞した。青森県立青森大学学生団体「レスタ」が、30日東京で総理大臣表彰を受けた。

「レスタ」は、青森県立青森大学の学生が中心となり、県内外の学生と異年齢交流の場を提供している。今年度は、県内外の学生と異年齢交流の場を提供する活動が評価され、総理大臣表彰を受賞した。

表彰状を手に笑顔を見せる 須藤さん(左)と坂本さん(右)は30日、都内で表彰を受けた。

「レスタ」は、青森県立青森大学の学生が中心となり、県内外の学生と異年齢交流の場を提供している。今年度は、県内外の学生と異年齢交流の場を提供する活動が評価され、総理大臣表彰を受賞した。

「レスタ」は、青森県立青森大学の学生が中心となり、県内外の学生と異年齢交流の場を提供している。今年度は、県内外の学生と異年齢交流の場を提供する活動が評価され、総理大臣表彰を受賞した。

「レスタ」は、青森県立青森大学の学生が中心となり、県内外の学生と異年齢交流の場を提供している。今年度は、県内外の学生と異年齢交流の場を提供する活動が評価され、総理大臣表彰を受賞した。

## 進路関連行事報告

### 看護医療ガイダンスが行われました

12月13日(火)に、1~2学年の希望者43名と申し込みされた保護者を対象に、株式会社アゼストの植松弘幸先生を講師としてお招きして実施しました。本校は、毎年、医療系の仕事を希望する生徒が非常に多いのですが、他の系統と異なり、最終的には国家試験に合格しなければ働くことができない仕事です。理学療法士の国家試験合格率は88.1%ですが、進学した人約15,000人のうち、卒業出来た人は2022年度で10,549人、そのうち国家試験に合格出来た人は9,296人と、進学先での勉強についていけない人が、かなりの数存在するというデータも示されました。しっかり学習を続ける覚悟と確かな基礎学力が必要だということです。配付された資料には、医療系職種についての具体的な説明や、様々な学校の学費や寮の有無、倍率などの詳しい情報が掲載されているので、受験対策に必要なことも確認しながら、よく考えておきましょう。

#### 【生徒のアンケートから】

- ・アドミッションポリシーを調べ、それに合った自己アピールが必要だと知りました。今からでも出来ることなので、意識していこうと思います。日頃から現代医療の課題や進歩を知っておくと、小論文や志望理由書に生かせるので、日頃から情報収集していきたいと思いました。(看護希望者)
- ・数学、物理などの知識の他に、日本語能力、コミュニケーション能力が必要であると知ったので、苦手な物理をもっと真剣にやっていたいかなければと思った。自分の発信力を高めるために、KITAの時間で取り組んでいるレポート発表を頑張りたいと思った。(理学療法希望者)
- ・大学と専門学校で悩んでいるので、学校の所在地にこだわらず、学費や寮などいろいろな学校を比較して決めようと思った。看護に求められているものを日頃から考えていきたい。(看護希望者)



### 公務員対策学内講座(2学年対象:第1期)が終了しました

本校では、公務員試験対策として「東京アカデミー青森校」から専門の講師を招き、全21回の学内講座を第I期から第III期に分けて実施しています。第I期には21名の生徒が参加し、対策問題に取り組みました。問題集などを購入して、各自で勉強を進めることもできますが、\*独特な問題もあるため、公務員希望者はできるだけ参加するようにしましょう。公務員試験は9月がピーク。ということは、勝負の時は進学希望者よりもずっと早いということです。出願も6月から始まるため、出願先についても春までに決めておかななくてはなりません。

公務員試験は難関です。しっかりと力をつけた人は複数の応募先から合格を勝ち取る一方で、すべてに不合格となり、11月~12月にかけて、進学に切り替えたり、今から応募できる民間企業を探す人は毎年いますし、浪人してもう一年勉強する決断をする人もいます。公務員希望者は、しっかり覚悟して臨む必要があります。普段の授業での学習が基盤になることを意識して、日々の授業や考査に取り組みましょう。



\*独特な問題とは・  
例えば今勉強しているのは「判断推理」「空間把握」「数的推理」「政治」「文章理解」など

## 進路関連行事予定

12月24日(土)	3学年土曜講習⑥
12月26日・27日	冬期講習(1~2年:普通科、3年)
12月28日(水)	冬期講習(3年)
1月4日~6日	学習会(1・2年希望者:外部会場)
1月6日(金)	冬期講習(1~2年:スポーツ科学科)
1月4日~7日	3学年冬期講習・土曜講習⑥
1月11日(水)	始業式・確認テスト(12日1校時まで)
1月14日・15日	大学入学共通テスト
1月21日(土)	進研記述模試(1・2年)
1月22日(日)	進研記述模試(2年)
1月31日(火)	合格者体験報告会

#### 【1~2学年 講習校時表(50分×3)】

SHR	8:50~8:55
1校時	9:00~9:50
2校時	10:00~10:50
3校時	11:00~11:50
SHR・清掃	11:50~

#### 【3学年 講習校時表(60分×5)】

1校時	9:00~10:00
2校時	10:15~11:15
3校時	11:30~12:30
4校時	13:00~14:00
5校時	14:15~15:15

冬休みは復習と苦手克服のチャンス。  
がんばる!



## 知っていますか? 共通テストは長丁場

大学入学共通テストは5教科7科目。実際の時間割を見てみましょう。

1日目、2日目とも、試験は9:30から、終了は1日目18:10、2日目17:50とかなり長丁場です。試験と試験の間の待機時間も長いので、その間をどう過ごすかの戦略も必要になります。使い慣れた参考書やノートを持参し、落ち着いて最後の見直しをすることや、気持ちの切り替えのために自分なりの工夫をして、周りに左右されずに過ごすことも考えなければなりません。試験時間に頭がフルに働くよう、起床時間や食事の時間にも気を配って、ベストな状態で受けたいものです。

1日目	地歴公民	9:30~11:40(2科目)
		10:40~11:40(1科目)
	国語	13:00~14:20
	外国語	15:10~16:30(リーディング)
		17:10~18:10(リスニング)
2日目	理科①	9:30~10:30
	数学①	11:20~12:30
	数学②	13:50~14:50
	理科②	15:40~17:50(2科目)
		16:50~17:50(1科目)